

科目名	検定英語 2			
授業形態	演習	学年	1	
開講時期	2021 年度 後期	単位数	2	
担当教員	若林 達司			
内容および計画	<p>「検定英語Ⅱ」では TOEIC テスト受験でスコアを目指す学生に向けた授業です。授業は大きく以下の二つの部分で構成されています。</p> <p>1 TOEIC Part1 から Part7 までの練習－実際の TOEIC テストに望むためのポイントを各パートごとに練習します。</p> <p>2 TOEIC テストの模擬試験－リスニングセッション 4 5 分、リーディングセッション 7 5 分を授業各一回を用いて行います。</p>			
1	Part 1 －TOEIC の入口 ここでミスしないために			
2	Part 2 －Short conversation ノーミスで切り抜ける			
3	Part 3 －図表のある対話問題			
4	Part 3 －対話形式（3 者の対話）			
5	Part 4 －Short Passage のリスニングで気を付ける基本事項			
6	Part 4 －Short Passage のリスニング 国別の発音傾向			
7	Part 5 －基本的な出題傾向と解答の導き方			
8	Part 5 －確実に正解するためにすべきこと			
9	Part 6 －長文中の穴埋め問題 傾向をつかむ			
10	Part 7 長文問題の練習 －基本の Single Passage でしっかり得点する			
11	Part 7 長文問題の練習 －Double Passage を克服する			
12	Part 7 長文問題の練習 －Triple Passage に挑戦する			
13	模擬試験 1 回目 －試験概要の把握、リスニングセッション（4 5 分）の実施、解答の確認			
14	模擬試験 2 回目 －リーディングセッション（7 5 分）			
15	模擬試験の振り返り －各自のスコア確認と課題の発見			
<b>教科書</b>				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	新形式問題対応 TOEIC テスト 直前対策模試	早川幸治、ロス・タロック	語研	978-4876153121 2016

参考書	
成績評価	
	評価方法
	割合(%)
模擬試験における得点	100
学習到達目標	模擬試験における得点で500点以上を目指します
先修条件	特に設けませんが、前期の「検定英語Ⅰ」と連続履修することで効果が上がります。
実務経験	
その他	会津大学では年に2回～3回程度の TOEIC IP テスト（TOEIC が実施する会場テストではなく大学教室を利用したテストで、会場テストと同等の結果が得られスコアも利用できます）を実施しています。大学が受験費用の一部を負担するシステムで、通常の会場テストより低いコストで受験できます。積極的に利用してください。実施日等は学期途中にアナウンスします。